

育児休業に関する体験記 7

40代 31日間取得

①家事・育児について

1. 育児休業前に、夫婦で家事・育児の分担をどのように話し合い、行ったか

育児期間中、夫婦で話し合った結果、買い出しを私自身が中心で行うこと以外は、細かく分担せず二人で交代で協力しあいながら、家事育児を行いました。

2. 育児休業後の家事・育児の参画の状況について

引き続き、妻に教えてもらった家事、育児を協力しながら実践しています。

育児期間同様に、時間帯をお互いにずらして家事育児を行っています。

(妻 記載欄)休業取得者の家事・育児の参画の状況について

育休期間中は、買い物やミルクや寝かしつけを交代してくれたおかげで私も休息を取ることができ、精神的な余裕を保ちながら育児に臨むことができました。

何より、何かあればすぐ頼ることができたのでとても心強かったです。二人で子どもの成長を実感しながら過ごせたのでとても感謝しています。

②仕事について

1. 休業取得前、仕事の引継ぎはどのように行ったか

上司、先輩、同僚のスタッフと事前相談のうえ引継ぎを行いました。

私自身の業務を直接引き継いでいただいた先輩スタッフへは、業務資料を作成して引き継ぎました。

2. 評価・反省

自身の業務引き継ぎ以外では、口頭での引継ぎが多くなり、社内全体へ進捗状況を伝えきれませんでした。育休前に詳細な引き継ぎ資料を配布して共有を行うべきであったと思います。

③自由記述

この度、多忙な中、社内の皆様のご協力のもと、男性として育児休業を取得することが出来ました。

本当に感謝しかありません。

今回、妻が家庭の事情により里帰りすることが難しく、私も育児休業を取得させていただきました。まず、育児を行って思ったことは、世の育児をされている皆さんは、本当にすごいことをしているのだと衝撃を受けました。約1ヶ月という期間でしたが、子どもと常に一緒に育児しながらの生活は本当に大変で24時間子ども中心の生活となり、妻と互いにカバーができる理想的な状態には程遠く、何とか交代で育児を行う日々を過ごしました。育休を取得しながら改めて感じたことは、一人で育児をするのは避けたほうが良いということです。育児も仕事と同じで適切な時間休まないと気力と体力が続きません。

育児をすべて一人で抱え込まずに家族と会社とそして社会全体で協力し合うことが大切だと感じました。

今回の育児休業は、私自身、分からないことだらけでスタートしましたが、妻と二人で協力し合えたことは、私にとっても妻にとっても、今後の育児と仕事を行ううえでも、本当に大切な時間となりました。

改めまして、このような時間をいただきまして、本当にありがとうございました。そして、職場復帰した今現在も育児をしてくれている妻に感謝の気持ちを忘れることなくこれからも頑張っていきたいと思っております。